

夏休み特別イベント

異文化体験・ティーパーティ

Intercultural Event

楽しかった！ピザがおいしかった！有意義な時間でした！

大きなピザやガロンサイズのジュース、マックのポテトの大きさなど日本の物との大きさの違いを実際に目にしてビックリ。「ナイター」や「シュークリーム」などの言葉が通じなかったり、逆に「つなみ」や「ピカチュウ」が通じてビックリ。「カラオケ」や「ポケモン」のように何となく通じるけれど、微妙に違う発音が面白くて、みんなで繰り返し口ずさんで大笑いしたり・・・一番人気は、ネイティブの先生方の「カルチャーショック」のお話。日本に来て「驚いたこと」を豊かな表現で話すものだから、子どもたちも保護者の方方も思わず引き込まれていた。「和式トイレの話」「なぜマスクをしているの?」「タクシーの自動ドア」「子どもが一人で歩いている！大丈夫なの?」など。子どもたちは大体の話を理解し、中には「翻訳する」子までいた。



「当たり前」だと思っていたことが「当たり前ではない」ことに気づかされた時間でした。子どもたちがいろいろな国々の文化に触れ、自国との違いに気づき、「日本の文化」をより深く理解し、日本人としての誇りを持って世界に羽ばたいて欲しいと願っています。

子どもたちの感想（抜粋）

- ・外国人の話で、「子どもが一人で歩いているのにとってもびっくりした」と聞いたときは、「なんで〜?」と思いました。わたしたちには普通のこと外国の人には違うので「びっくり〜」ってことがやっぱり文化が違うということ。
- ・みんなで楽しくパーティができてうれしかったです。
- ・日本で当たり前のことが外国では違うことに驚いた。
- ・世界にはたくさんの違いがあるんだな。
- ・外国人が日本に来たらたくさん驚くことがあるという話があったので、逆に日本人が外国へ行ったらそれよりも驚くだろうなと思った。
- ・質問とかいろいろ聞いて楽しかった！またやりたいです。



保護者の方々の感想（抜粋）

- ・最近はいろいろなところでもアメリカのものが手に入るのでも大きさは大体予想がついていましたが、実際に目で見るとびっくりしました。
- ・とても楽しい時間をありがとうございました。15年ぶりくらいに自分に問いかけてくれるような英語を耳にし、目と目が合い英語を耳にする事の大切さを痛感しました。子どもたちにも、あのくらい「普通の英語の話方」を感じさせるのはいいことのように思います。聞き取りやすい、分かりやすい英語も大切ですが、時には外国人の生活の中に投げ込まれたような英語を聞くことも「カッコよさ」を含め、新鮮かと思えます。子どもたちはやはり耳がすごく良く、適当ですが、帰りの車の中で「似たようなしゃべり方」を楽しんでいました。これからはネイティブ講師にたくさん話をしてほしいです。
- ・食べ物の大きさが違うことや日本が安全であったりすること、生活や文化の違いを改めて感じることができました。アメリカから遠い日本にいらした先生が日本のお寿司やお味噌汁をおいしそうに食べる姿が想像できて楽しい時間でした。母として、もう少し、先生の国の文化や言葉を勉強できたら・・・!! と思います。
- ・カタカナの日本語で「シャーペン」が英語になると難しい言い方になるのが分かってビックリしました。「コンセント」を「outlet」というのも初めて知りました。私自身が英会話がとても苦手なので正直今日のパーティーは参加するのが不安だったのですが、最初から最後までとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。子どもたちもみんな楽しそうで良かったです。今日はありがとうございました。



キッズクラブで英会話を教えている講師には外国留学など豊かな経験の持ち主がいます。その中の一人、アダスの職員でもある飯島義人の留学体験をシリーズでお伝えします。

飯島先生の

アメリカ留学体験記

Episode 1

To America

アダス進学会坂本スクール
飯島 義人



1992年、オレゴン州ポートランドから、留学先のワシントン州立大学のあるプルマンへ向かう飛行機の中でのこと。小学4年生のアメリカ人の男の子の隣の席に座りました。離陸後に配られたスナックをその子にあげたことから、その子Bobとおしゃべりするようになりました。彼はおじいちゃん、おばあちゃんのところへ行くところで、その日初めて一人で飛行機に乗ったのだそうです。“I came from Japan.” といったほかに、Bobはアメリカのことを教えてくれました。彼が最初に話してくれたのは、

“It's a free country.” (アメリカは、自由の国なんだよ。)

ということ。10歳の子どもが誇らし気に語り、20歳過ぎの自分がかしこまって聞いていたその囀は、今思い出しても微(苦)笑してしまいます。そしてアメリカという国では、10歳の子どもにも国の理想がしっかりと伝わっていることに感心させられました。

Halloween

多読教材 Springboard シリーズ

10月はみんなの大好きなハロウィーンがあります。今年は、大きなかぼちゃをくりぬいて、みんなでJack-O-Lanternを作る予定です。さあ、どんなこわーい顔ができるか、楽しみですね。その他にも、ハロウィーンの衣装をしたり、ゲームをしたりして、思いっきり楽しみましょう！
合言葉は？

Trick or treat! Give me something good to eat!
(お菓子くれなきゃいたずらしちゃうよ！)



昨年度から始めた英語の絵本の音読ですが、半年を過ぎて、その効果が見えてきました。会議で各講師から様々な報告がありました。

- ・発音がとてもよくなった。
- ・ミドル・アドバンスの生徒は高いレベルの本でもすらすら読めるようになった。
- ・アドバンスの生徒の中には、週に4・5冊借りて読んでいる子もいる。
- ・同じフレーズの繰り返しが出てくるレベル1・2の本は、1・2年生でも暗記してくる。
- ・「CDの音源の朗読スピードが速いので、うまく聞き取れない」という感想もあるが、スピードに慣れることも大事だと、子どもたちに伝えている。

・・・など。

レッスン中は時間が取りにくいので宿題で出しています。128冊の読破にぜひ挑戦して欲しいと思います。ご家庭でお手数をかけますが、ご協力をよろしくお願い致します。

秋の無料体験 受付中

友だちにお知らせください

ハロウィーン・クリスマス会・発表会(来春)など外国人の先生と一緒に楽しめる行事がたくさんあります。子どもたちに「外国人と同じ空間にいて、生の英語に浸る」経験を積むと、外国人に対する苦手意識がなくなります。

英検

合格者の声

4級合格 高橋優梨子さん(小6)

受験前は、合格できるかどうか不安でした。5級に比べ、過去形が出てきたり、単語が難しかったりしたからです。でも合格できました。よかったです。私だけでは絶対に合格できなかったと思います。合格できたのは勉強をわかりやすく教えてくれたY先生、一緒に4級に挑戦した友だち3人がいたからです。4人全員が合格できてとてもうれしいです。私には目標があります。6年生のうちに英検3級に合格することです。むずかしいと思うけれどがんばります。